



ゆっくら通信

社会福祉法人ゆっくら 〒301-0834 茨城県龍ケ崎市古城3204
<http://www1.ocn.ne.jp/~yukkora/> 電話:0297-85-4301

フレッシュグリーンがスタート

施設長 松橋 和枝

2013年10月1日、ともだち村谷田部分室がともだち村から分離独立して、就労継続支援B型事業所フレッシュグリーンとして、定員20名、職員6名でスタートします。

フレッシュグリーンの本部と菓子製造部門は「わかば」から徒歩7分くらいのところにある「じんや橋」のたもとの建物の2階に移転しました。2階通路と作業室の窓からは、谷田川と広々とした谷田部総合運動公園が見渡せて気持ちがとても和みます。



菓子製造部門の作業スペースはこれまでの約3倍になり、人や物にぶつからず、のびのびと仕事ができるようになりました。窓からは自然光が入り、明るい雰囲気に包まれています。ここでは、これまで行っていたクッキー、おからパン、プリン、ブルーベリージャムやリンゴジャム、ブルーベリーマフィンなどの焼き菓子の製造販売をメンバーさんと共に引き続き行っていきます。

また、新たに園芸作業部門を設けました。「わかば」から徒歩3分のところに園芸ハウスを作り、花の苗ポットの生産と販売を行います。園芸部門の立ち上げにあたっては「花農場」の皆様へ技術指導をはじめさまざまな支援をいただいています。

さっそく秋のパンジー、ビオラの生産をメンバーの皆さんと行っていきます。



移転にかかわってくださった方々に感謝！

フレッシュグリーンの移転にあたっては、ともだち村やわかばの職員の協力はもちろんですが、何よりも谷田部分室のメンバーの皆さんに多大な協力をいただいたことに感謝申し上げます。8月の猛暑が続いた数日間、日常のパンやクッキーづくりなどの仕事が終わってから、新しい作業場のお掃除を手伝っていただきました。まだ冷房が入らないところで汗をかきながら、床や壁、外回りをきれいにしてくださいました。そのかいがあり、見違えるようにきれいになりました！

お菓子やパン、そしてお花の仕事をしたい方大歓迎！！

フレッシュグリーンは、菓子製造や園芸の仕事をしっかりして工賃を得たいという方はもちろん仕事をしたい気持ちが少しでもある方、仕事をする中で生活リズムをつくっていききたいという方一般就労を目指す方など仕事に興味がある方の参加大歓迎です。一緒に仕事をしてそれぞれが充実した日々を送っていったらいいなと考えています。



就労継続支援B型事業所 フレッシュグリーン
 〒305-0861 つくば市谷田部4701-2
 ☎ 029-875-3680 fax 029-875-3683

ふれんず特別プログラム 『おいしいコーヒーの飲み方』

ふれんず 指導員 高橋純



2013.9.4(水)コミュニティーセンターにて

スポーツレクの取材（スポーツ誌『MUVE』）に来て下さっている兼子陽子さんが、本当のコーヒーの美味しさを知ってほしいということで、はるばる水戸からおいしいコーヒー豆や器具を持ってきました。部屋に入るなりひきたてのコーヒー豆の香りに、「早く飲みたい」という声も……。挽きたての豆が膨らむようにゆっくりとお湯を回して淹れるドリップの仕方を教えてもらい、ブラジル、ガテマラ、モカの3種類のコーヒーを味わいました。「インスタントや缶コーヒーとは全く違っておいしい！！」との感動の声が聞かれました。コーヒーの相伴にフレッシュグリーンからおいしいクッキーも提供していただき、至福のひと時でした。

地域活動支援センター ふれんず

〒300-2312 つばみらい市神生 530 きらくやま
☎ 0297-58-3670 Fax 0297-44-9361
〒300-2307 つばみらい市板橋 2184-7
☎ 0297-58-0466 Fax 0297-38-6201



「センターでの作業は色とりどりです」

ゆうあいワークイン 指導員 坂本美香

ゆうあいワークインでの日中活動のプログラムの一つに軽作業があります。仕事は数箇所の事業所からいただいています。その一つに内職を取り扱っている会社があります。元気の良い気さくな社長さんが「仕事が入ったので取りに来て」と連絡をくださいます。仕事の内容は毎回変わりますが、車のヘッドライトのバリ取りや試供品のパッケージ、箱の組み立てなど、集中力が必要な細かい作業や初めて作業に参加する人でも取り組みやすいものなど様々です。受ける仕事の数は千単位からとなることも多く、納期までに仕上げられるかドキドキすることもあります。

しかし、いざ作業が始まると参加したメンバーの皆さんの手際の良さに、いただいた仕事もあっという間に仕上がることもしばしばです。

作業は、ただ早く仕上げるのではなく、不良品を出さないように丁寧に仕上げることを皆で心がけて行っているので、業者さんから「仕上がりがきれいですよ、また頼みます。」と言葉を掛けられるのは嬉しいものです。

これからバレンタイン商品の仕事が入る予定です。ゆうあいワークインで仕上げた商品が店頭に並び、皆さんもどこかで商品を手にとられることがあるかもしれませんね。



地域活動支援センター ゆうあいワークイン

〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町三区 2422-10

☎ & Fax : 0297-64-1335

わかばにて『お茶会』を開いて

わかば 指導員 佐藤恵子

月曜日のレクレーションにお茶会を試みました。以前からメンバーさん達数人も茶道に興味があり過去に一度も飲んだ経験がないという事で、茶筌（ちゃせん）を使って自分で点てたお茶を飲み、お茶菓子には、実習を兼ねて白玉団子でいろいろな形に丸め、あんをかけ、お茶と一緒に頂き各々が満足感に浸ったひと時でした。ちなみにお茶にはビタミンB1、B2、ビタミンC、Eが豊富でがん予防や、美肌効果、抗菌殺菌作用がありアミノ酸やBカロチンも多く含まれ、効能は抜群の食品です。また、「一期一会」という言葉がありますが、これはお茶会の心得で、茶道で客との出会いは一度限りのものであると考え、心をこめてもてなすということなのです。是非、また、機会を作ってお茶会を楽しむ事にしましょう。



お、も、て、な、し

地域活動支援センター わかば
〒305-0861 つくば市台町1-2-2
谷田部老人福祉センター ☎ & Fax:029-836-8544

僕の社会復帰について

関根 浩一（古城の家・ゆうあいワークイン）

退院してから古城の家に入所して花農場を利用するも、免許が欲しくて水戸で適性検査を受けて教習所通いの日々。免許を取得してすぐ新聞店に面接に行き、結果、採用され朝刊を配ったり夕刊を配ったりしました。



【古城の家の夕食で調理する関根さん】

二月に夕刊配達中に事故に遭い怪我もしました。

はじめは社長に自分が当事者であることは言わないで隠していたのですが、自分自身、病気であることを隠す必要もないだろうと自分は統合失調症であることを伝えました。

年が明けてからは古城のメンバーさんにも夕刊配達をしてみないかと誘い、一緒に佐貫の店まで一日も休むことなくバイクで通いました。服薬をしながら仕事をするのは大変な事ですが、最終的には己を信じ、支えてくれる方の後押しも手伝って、今現在は失業中ですが、怪我が治ったらまた就労できる様に頑張りたいと考えている今日この頃です。

スペースなかま

花農場との出会い

谷口 学（花農場）

私が精神病院に通い、通院を始めたのは確か、25歳の頃だと思います。実際に病気になったのは20歳前後だと自分では思います。

呼吸がゼイゼイと荒くなり、ニヤニヤと笑うことが多くなり自分でもおかしいなとは思っていましたが、精神病になったということを自分で認めたくなく、周りの人にも知られたくなく、我慢をして仕事を転々としていました。

社会の仕事場には大変厳しいものがありました。自分でも社会に対応できなくなり、とうとう精神病ということを知り、精神病院に通うことになりました。自分で精神病と認めたことで、何もできなくてもしょうがないと自分で自分に甘くして認めたことで楽になったのです。周りの人の目も「あいつは精神病だ。きちがいだ」と偏見の目で見られる人もいますが、病人なんだからと言って親切にしてくれる人もたくさんいます。

私が花農場で仕事を始めてから1年が経とうとしています。もっと早く花農場という支援事業所に出会いたかったというのが本音です。花農場などの支援事業所に出会うには、情報収集が必要だと思います。支援事業所や支援団体の方でも病院、役所、スーパーなどあらゆる所、いろいろな所でこんな支援団体がありますよと教えてもらいたいです。心優しい支援員やボランティアの方たちを親、兄弟、子供と思い、力になってもらおうと思います。



スペースなかま

楽しい♪花農場での修行(研修)の日々！

フレッシュグリーン 指導員 加藤 千枝

私が花農場の研修生となったのは、4月16日のことでした。

研修の目的は、新しく立ち上がる「ゆっくら・フレッシュグリーン」の園芸部門の職員として、何とか働けるように…ということでした。

これまでの私は、花は好きでしたが、知識は人並みとは決していけない状態でした。ホームセンターで苗を買い、プランターに植え、一時「きれい…」と思いますが、枯れてしまうと「仕方ない」と、処分していました。そんな「花」との付き合い程度の私が、花農場の研修生??私を知っている周囲の人たちは、「そんな仕事できるの?大丈夫?」と心配の声ばかり。ドキドキ・大丈夫かな〜と、不安な気持ちで始まった研修も早5ヶ月。今はナント、仕事(研修)に行くことが楽しくてしょうがない毎日。まだまだ、奥深〜い花のことは「始めの一步」状態ですが、ハウスの中にいることが、花と一緒にいることが楽しくて仕方ありません。こんなに私が楽しいのは何故か?それは、花農場で働いていらっしゃる皆さんの雰囲気ではないかと…。いろいろ不器用なことがたくさんある私を仲間として温かく迎えてくれました。この雰囲気なら、ドジな私も伸び伸び力を発揮できるかも?!

今花農場では、職員の方はじめ、25名前後の方達が仕事をしていらっしゃいます。こんな温かい環境の花農場なら、花も人もすすく・伸び伸び・自分らしく育っていけると 생각합니다。10月からは、花農場から巣立ちをしなければなりません、花農場での修行経験と、植松施設長のお好きな言葉「マインド」を、フレッシュグリーンでもつなげていきたいと思っています。花農場の皆さま、ありがとうございました。



休憩中も楽しそうに花がら摘みをする加藤さん

就労継続支援 B 型事業所 花農場

〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町三区 2422-11

☎ : 0297-64-1393 fax : 0297-84-6717

ブルーベリー大豊作です！

ともだち村 サービス管理責任者 水挽由美子

ともだち村のブルーベリー畑では、苗の植え付けから3年目、200本のブルーベリーの木が250キロを越える見事な美味しい実をつけました。

十円玉と比べてもこんなに大きい！



7月から9月の猛暑の中、ほぼ毎日メンバーと職員で汗ダクになりながら収穫を行いました。その後、丁寧に選別してパック詰めした商品はその日のうちに直売所へ出荷します。残りは冷凍したり、ドライフルーツにしてフレッシュグリーンにおろし、ジャムやパンなどに加工して商品化され皆様の食卓に並びます。初めてブルーベリー栽培に取り組んでから、草取り、肥料やり等の地道な仕事を継続して行ってきたことが3年を経て、着実に実を結んでいます。

この10月からともだち村谷田部分室が、新たにフレッシュグリーンとして独立しますが、このブルーベリーをはじめ、平飼養鶏の卵などもともだち村が自信を持って提供できる生産品事業はフレッシュグリーンとのコラボで、ますます発展が期待されます。給食事業も含め、利用者の皆さんが、これからも仕事に誇りを持って仲間と助け合いながら働けるように、私達職員も見守っていききたいと思います。

就労継続支援B型事業所 ともだち村

☎ : 0297-58-5201

〒300-2307 つばみらい市板橋 2184-3 Fax : 0297-38-6551

グループホーム・ケアホームの連絡先

ボランペの家(つばみらい市)

☎ : 0297-57-0756

古城の家(龍ヶ崎市)

☎ : 0297-85-4304



編集後記
また一つゆっくら
新しい事業がスタート
しました。皆さんの笑
顔をお伝えしていき
たいと思います。
(加瀬)